



四條畷市

受けててよかった。

がんは

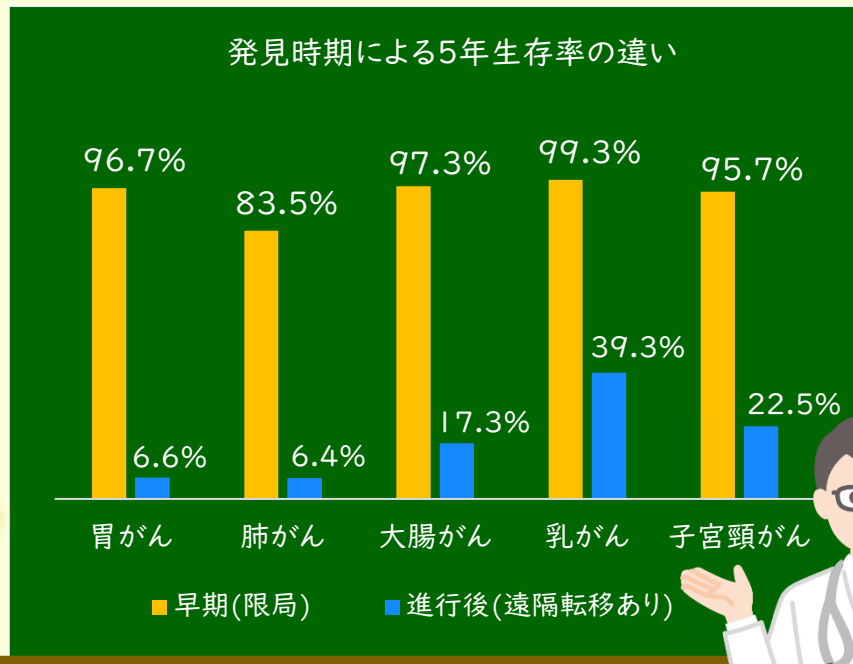
早期発見・早期治療が

重要です。

だから、

今年も受けます

がん検診



(出典:がんの統計2025 地域がん登録における5年相対生存率(2009~2011年診断例) 臨床進行度別5年相対生存率)



令和8年度がん検診一覧

種類	胃がん ※1		肺がん	大腸がん	乳がん マンモグラフィ		子宮頸がん
	(個別) 胃内視鏡検査	エックス線 (バリウム)検査	胸部エックス線 撮影	便潜血反応 免疫法	2方向	1方向	視診 頸部細胞診
対象	和暦偶数年生まれの 50歳以上	50歳以上	40歳以上	40歳以上	40歳代	50歳以上	20歳以上
					和暦偶数年生まれの女性※2		
間隔	2年度に1回	1年度に1回			2年度に1回		
受診料	3,400円	900円	400円	300円	1,100円	900円	800円

※1 令和7年度に胃内視鏡による胃がん検診を受けている人は受診できません。

※2 和暦奇数年生まれで令和7年度未受診の人は、保健センターに事前申請することにより、個別医療機関での受診が可能です。

受診費用免除者について

下記①、②に当てはまる人は無料受診券を発行できますので、必ず受診前に保健センターに申請してください。

①生活保護受給中の人 ②身体障がい者手帳1級・2級、療育手帳A、精神障がい者福祉手帳1級を所持している人



がん検診の詳細

【問い合わせ:四條畷市立保健センター TEL 072-877-1231 FAX 072-877-6963】

医療機関名	電話	住所	がん検診				
			胃*	肺	大腸	乳	子宮
安 部 ク リ ニ ッ ク	0743(78)8875	田原台5-17-21		○	○		
イトウ・クリニッ ク	0743(71)1122	田原台4-4-24		○	○		
き た い ク リ ニ ッ ク	072(879)2540	楠公2-8-10	内	○	○		
北 河 内 藤 井 病 院	072(879)5311	岡山東3-1-6			○		
河 野 医 院	072(876)0241	楠公2-10-12		○	○		
田 中 医 院	072(877)1078	塚脇町5-3	内	○	○		
畷 生 会 脳 神 経 外 科 病 院	072(876)7008	中野本町28-1	バ・内	○	○	○	
中 村 診 療 所	072(878)5510	中野1-3-1			○		
西 村 ク リ ニ ッ ク	072(862)3001	楠公1-14-6 梨岡ハイツ1F		○	○		
林 内 科 医 院	072(878)8191	岡山東2-1-23		○	○		
福 田 医 院	072(876)1666	岡山2-1-58		○	○		
ふ く だ ク リ ニ ッ ク	072(862)1156	中野本町8-39		○	○		○
松 吉 医 院	072(876)7221	米崎町17-30		○	○		
み や ざ き ク リ ニ ッ ク	072(863)2266	楠公1-15-8 2F			○		

4種類以上のがん検診を実施している医療機関

医療機関名	電話	住所	がん検診				
			胃*	肺	大腸	乳	子宮
大 阪 複 十 字 病 院	072(821)3888 予約専用	寝屋川市打上高塚町 3-10	バ	○	○	○	○
大阪がん循環器病予防センター	06(6969)6712 予約専用	大阪市城東区森之宮 1-6-107	バ	○	○	○	○
恵 和 会 総 合 ク リ ニ ッ ク	072(889)1122	大東市末広町7-7 東邦ビル	内	○	○	○	○
小 松 病 院	072(823)1521	寝屋川市川勝町11-6	バ	○	○	○	
たかばたけウィメンズクリニック	072(873)6671	大東市扇町4-18		○	○	○	○ (女性のみ受診可)

がん検診実施医療機関一覧

大東市、寝屋川市、大阪市、奈良県内にもがん検診を受けられる医療機関があります。

実施医療機関の一覧は、下記QRコードからホームページをご確認いただくか、保健センターにお問い合わせください。

実施医療機関
QRコード



<予約方法>

医療機関に直接電話でご予約ください。

がん検診で、精密検査が必要と言われたら、必ず精密検査を受けましょう
がん検診の目的:定期的な検診でがんによる死亡を減少させること

検診を受けるメリット

- ・早期発見、早期治療により命を守ります。
- ・早期のがんで見つかりやすく、身体や経済的にも負担の少ない治療で済みます。
- ・がん以外の病気が見つかることがあります。
- ・「異常なし」が確かめられ安心感が得られます。

検診を受けるデメリット

- ・がんがあっても異常なし(偽陰性)と判定されたり、がんがなくても精密検査が必要(偽陽性)となることがあります。
- また、がんが100%見つかるわけではありません。
- ・まれにですが、検査による事故等(偶発症)が起こる場合があります。
- ・検診を受けることが、心理的な負担になってしまう場合があります。